令和7年度 日野市立 東光寺小学校 経営重点計画 自己評価シート 令和7年6月公表 ★重点計画の概要

★学校の教育目標 〇明るい子ども ○考える子ども ◎強い子ども

★目指す学校像(ビジョン)

【目指す児童像】

○自然を大切にし、優しい心で接する子供 ○自ら考え、判断して、よりよく学び、行動する子供 ○健康・安全に心掛け、前向きな気持ちで生活する子供

〇安心・安全な学校 〇子供が嬉々として登校し、自分の成長を実感する学校

【目指す学校像】

「共に あたたかく きびしく」 ○教職員同士、地域・保護者と共に ○報告・連絡・相談を迅速・密に 【目指す教師像】

○服務事故ゼロ

学校の教育目標、目指す学校像達成のため、第4次日野市学校教育基本構想「すべての"いのち"がよろごかあふれる令と未来を つくっていく力」の育成を学校経営の理念の中核とし、その中で、本校は児童が安全に、安心して生活する中で、児童一人一人が 自募部係件や事材用態を表めるため「児童の安全・安心力コジェクトは予う、具体的には リリ安全・安心」な学校理境構築のため、生活指導では、「東先寺スタンダート」を浸造・機能させ、規範意識の育成、基本的な生 活雷情、授業保険を確立する。また、児童をの「学校をとり成でもためる機能」を指導している場合といってきる。 とない内容がにおいて実施を研究することで、収集をか「学校とり成でもための機能」を指導した。 こな内容がにおいて実施を研究することで、収集をから学校との 全教員で実践するための射額を取む。 ③コミニティ・スケールとして、地域との双方向のつながりを強め、地域に根ざした学校を目指す。地域の特色を生かした活動の 充実と、地域のために貢献・活動をする児童を育成する。地域・保護者ボランティアを授業や教育活動全般へ積極的に要請する。

| 領域 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 具体的方策 | 評価指標・評価基準 | | |
|-----------------------------|---|---|--|--|---|--|
| | | | | 取組指標 | 成果指標 | |
| みんな者 が当して歩つ がと自道る | 【安心できる学校】 ①教育活動の基盤は 「安心・安全」である ことを常に急頭に置き、学校体制導の介え、他を対 等を強力である。基盤として豊心、自他表別 係を醸成心・自思識な人間を大切に尊ずる所・自思識な人で が、社会戦やを終明 感、社会戦やを終明 は、社会性を育するのは、自己のは、 は、社会性を育するのは、 は、社会性を育するのは、 は、社会性を育する。 | 校内支援体制及び相談体制を充実 し、児童全員が安心して過ごすこと ができるよう、組織的にいじめ・不 登校の未然防止、早期発見、即時対 応に努める。 | 年3回の「ふれあい月間」等を利用し、全校で定期的ないじめの調査を実施 するこれに、児童の自発的・自主的な活動を実施する。 (主な取組) ・学期に1回以上のいじめ対策研修、毎週児童の実態把握と情報共有のため の調点打ち合わせ実施 ・2クールカウンセラーによる5年生への全員面接 ・43回の「いじめアンケート」の実施と聞き取り調査の撤底 ・朝会等でのいじめ防止に関する講話 | 4 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が100% | 4 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が90%以上 | |
| | | | | 3 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が90%以上 | 3 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が80%以上 | |
| | | | | 2 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が80%以上 | 2 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が70%以上 | |
| | | | | 1 年度末に、いじめ・不登校を認知し、解消に向けて取り組んでいる教員が80%未満 | 1 児童アンケートで、「学校で安全・安心に過ごせる」と答えた児童が70%未満 | |
| | | 学校生活全体を通して、基本的な生活習慣や学校のきまりについて、全教職員が、いつでも、どこでも一貫性のある指導を行う。 | 「東光寺スタンダード」の基本的な考え方や実践方法を教職員全員で共通理解し、浸透・徹底を図る。また、保護者会や学校公開、生活指導便り等の機会を通じて、東光寺スタンダートの実践を復議者が中地郎の皆様に回り月後は、地域全体で子供たのよりよい生活影響プジントの場合。 廊下の歩行 東の番や攻撃への挟移の勝行 ・器いだ数の整理整線、ゴミ治い等の異動・接着を極いましていて戦争を付けて名前を呼び合う習慣 ・丁寧な言葉書い ・他名を再進 に関けの元美・計画・代表委員会が中心となった「学校をよりよくするための児童兒の取組」の実践等 | 4 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が90%以上 | 4 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が90%以上 | |
| | | | | 3 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が80%以上 | 3 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が80%以上 | |
| | | | | 2 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が70%以上 | 2 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が70%以上 | |
| | | | | 1 東光寺スタンダード実施の自己評価で3以上達成したと答えた教員が70%未満 | 1 児童アンケートで「学校で自分が大切にされている」と答えた児童が70%未満 | |
| みんな の多様としを あわせ つくる | 【子供たちがつくる 学 通いでは、 | 児童が主体的に学ぶための学習指導 の充実を図る。また、学級経営行実 と児童の主体性向上のため、特別活動を出発点にした、児童が自発的に 進める安心・安全の取組の充実をの る。また、児童の心の教育推進のだ め、特別の教科道徳の授業と日常の 道徳教育の充実に取り組む。 | 校内研究で取り組む算数の指導方法研鑽を中核に、各教科等の授業充実のための取組を推進する (全な取組) - 算数の授業の指導方法の工夫、日常の授業の充実に取り組む。 - 各教料の授業で用量が発見の喜び、習熟の喜びを実感できるよう指導を工夫する。 - 日本の授業で明確なねらいを設定し、授業を行う習慣を全数美に浸透させる。 | 4 明確なねらいを明示して授業を行った教員が90%以上 | 4 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が80%以上 | |
| | | | | 3 明確なねらいを明示して授業を行った教員が80%以上 | 3 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が70%以上 | |
| | | | | 2 明確なねらいを明示して授業を行った教員が70%以上 | 2 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が60%以上 | |
| | | | | 1 明確なねらいを明示して授業を行った教員が70%未満 | 1 児童アンケートで「授業は分かりやすく、意欲的に取り組むことができた。」と答えた児童が60%未満 | |
| | | | 児童主体の「安心・安全な学校づくり」の取組を推進する (主な取録) ・学級活動の充実により層心地がよい学級になるだめの取組を行う。 ・委員会を中心に児童が主体となった学校をよくするための取組を企画・実 賛する | 4 特別活動・道徳教育の充実を図った教員が90%以上 | 4 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が80%以上 | |
| | | | | 3 特別活動・道徳教育のを図った教員が80%以上 | 3 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が70%以上 | |
| | | | | 2 特別活動・道徳教育の充実を図った教員が70%以上 | 2 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が60%以上 | |
| | | | | 1 特別活動・道徳教育のの充実を図った教員が70%未満 | 1 児童アンケートで「よりよい学級・学校にするために活動できた」と答えた児童が60%未満 | |
| 社会と 末来、みつ よさなる | 【地域共創】コミュニ ティ・スクールとして 地域と学校との双方向 の教育活動を展開し、 地域に根ざした学校を 目指す。 | 教育活動全体を通じて家庭や地域と の連携を図りながら、地域の自然の 素晴らしさや生物を育てる喜びを通 し、"いのち"の尊さを実感させ る。 | "いのち"を実感できる体験的な活動や生きる喜びや楽しさを実感できる学 習や活動を行う。 (中心的な活動) ・全校「一人一幹」 栽培 (高学年は第、4年生はパンジー、3年生はコスモス、2年はミニトマト、1年はあさがお) ・悪業活動の体験を通心に「食」への応謝と正しい知識の理解 ・"いのち"をテーマとした道徳授業地区公開講座や学校公開での授業公開・"いのち"の大切さを学ぶための体験学習(原催先生・震災体験者から学ぶ)の充実 ・保護者・地域の方々と共に遅難所開設訓練の実施 | 4 "いのち"の取組を学期に1回以上行った教員が90%以上 | 4 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が90%以上 | |
| | | | | 3 "いのち"の取組を学期に1回以上行った教員が80%以上 | 3 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が80%以上 | |
| | | | | 2 "いのち"の取組を学期に1回以上行った教員が70%以上 | 2 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が70%以上 | |
| | | | | 1 "いのち"の取組を学期に1回以上行った教員が70%未満 | 1 自らすすんで植物栽培や農作物の世話、地域の自然を生かした遊びに関わった児童が70%未満 | |
| | | 経験させてもらう学習から、地域に 責献できる活動へと高めていく。関 校して現在までお世話になった保護 者・地域の方々に感謝と尊敬の念を もだせる。 | 地域の協力により、農業体験をはじめとして地域との協働的な学習活動を展開できている。今後は、地域のカベへの患激を質明化できるよう、児童自身が地域の活動に参加した。 して、大幅として地域の活動に関わる経験を構ませていく。 ・地域と構動のに関わり、子供たらが生体となって考え、発信する活動、地域と共に行う活動、地域に質載する活動など、双方向の活動を行っていく。 | 4 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が90%以上 | 4 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が80%以上 | |
| | | | | 3 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が80%以上 | 3 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が70%以上 | |
| | | | | 2 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が70%以上 | 2 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が60%以上 | |
| | | | | 1 児童が主体的に地域と関わる学習活動を企画・実践した教員が70%未満 | 1 児童アンケートで、「地域の方への感謝を行動に移せた」と答えた児童が60%未満 | |
| | ※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。 | | | | | |